

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	0	百日咳	0	1
RSウイルス感染症	0	0	ヘルパンギーナ	258	457
咽頭結膜熱	10	17	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	80	78
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	35	50	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	168	185	流行性角結膜炎 (はやり目)	16	15
水痘	50	69	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	902	1452	無菌性髄膜炎	0	2
伝染性紅斑 (りんご病)	12	10	マイコプラズマ肺炎	2	3
突発性発しん	36	50	クラミジア肺炎	0	0

**報告が多い  
感染症**

- 手足口病
- ヘルパンギーナ
- 感染性胃腸炎

- 手足口病は、報告数 902 件(前週報告数 1452 件)と減少。  
地区別では、菊池、熊本、山鹿に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の 235 件を最多に、幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 258 件(前週報告数 457 件)と減少。  
地区別では、有明、天草、菊池に報告が多くみられる。  
年齢別では、1歳の 77 件を最多に、幅広い年齢層から報告されている。
- 感染性胃腸炎は、報告数 168 件(前週報告数 185 件)と減少。  
地区別では、人吉、山鹿、菊池に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の 23 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミ ジア 肺炎
熊本市保健所			6	17	42	15	418	3	17		89	27		15				1
山鹿保健所			1		15	3	50	1				5	*	*				
菊池保健所			1	4	26	6	132	4	2		29	17		1				
阿蘇保健所					1						1		*	*				
御船保健所					5		9					2	*	*				
八代保健所					10		32		3		16	1						
水俣保健所						3	12		4		7	3	*	*				
人吉保健所					4	25	7	49	2	1	16	1	*	*				
有明保健所			1	1	30	7	88	1	4		51	12						1
宇城保健所					4	9	9	61	1	4	13	11						
天草保健所			1	5	5		51		1		36	1						
計	0	0	10	35	168	50	902	12	36	0	258	80	0	16	0	0	2	0

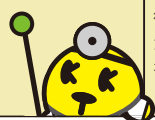
◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	10		2	3	3		1	1														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35			1	5	2	3	6	8	3	2	2	2		1							
感染性胃腸炎	168	4	17	23	12	14	11	19	10	8	7	12	17		14							
水痘	50		5	8	11	10	6	6		1	2		1									
手足口病	902	7	106	235	178	131	94	58	32	20	11	8	9	1	12							
伝染性紅斑	12		1	3		2		1	4				1									
突発性発しん	36		21	13	1	1																
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	258	3	30	77	36	40	16	20	13	9	4	4	5		1							
流行性耳下腺炎	80		1	3	4	13	11	13	12	5	7	1	5	1	4							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	16				1										3	5	3	2	2			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	2		1		1																	
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣  
人吉・有明・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：熊本・菊池・八代・水俣  
人吉・有明・宇城・天草
- 流行性耳下腺炎：山鹿

ヘルパンギーナ  
手足口病



今週は手足口病、ヘルパンギーナともに報告数が減少しました。しかし、報告数はいまだ警報レベルにありますので、今後も流行状況に注意し、予防に努めてください。  
手足口病、ヘルパンギーナともに、幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。手足口病は、口の中や手、足などに水疱性の発疹が見られる疾患で、ヘルパンギーナは、発熱とのどにあらわれる水疱性発疹が特徴です。患者の便や咳、くしゃみから感染しますので、予防法としては、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが有効です。また、医療機関からは、両疾患に同時に罹った例や、2回以上手足口病に罹った例が複数報告されています。一度罹った方もしっかり予防対策をとってください。

